

《沖縄協同病院の理念》

- 患者様に信頼され、質の高い安全・安心な医療をめざします。
- 人権を尊重し、納得のいく説明と同意、情報開示を提供します。
- 地域と連携し、総合的な医療・福祉・介護の提供に努めます。



沖縄協同病院・病院広報委員会

那覇市古波蔵4丁目10番55号

TEL.(098)853-1200

FAX.(098)853-1212

http://oki-kyo.jp

発行責任者 仲程正哲

新病院施設の紹介⑩

2階で会計ができます



待ち時間の短縮と1階会計窓口の混雑緩和を目的に、2階エレベーター横にて会計業務を開始します。

診察・会計での待ち時間は気分の優れない患者様にとって非常に苦痛だと思えます。2階会計を始めることで少しでも待ち時間を減らすことができます。

2階にも自動精算機を設置後、本格的に会計業務をスタートさせます。当分の間は火曜日と木曜日の午前に試験的に開始して、今月中の本稼働を目指しています。

医事課課長 赤嶺守一

新入職員45人を迎えて 新年度スタート



組合員の皆様こんにちは。2010年新年度が始まりました。昨年6月ここ古波蔵の地に移転して10カ月が経過しました。引っ越し当初は大変でしたが職員の奮闘でやっと落ち着いてきました。医療活動は確実に前進し、外来患者数も入院患者数も当初の計画を超過達成しています。組織活動でも奮闘し組合員加入及び増資の年度目標も達成することができました。協同病院始まって以来のW達成とのこと。組合員と職員の協力協同のためものだと思います。目標達成に向けて頑張る中で職員が改めて私たちの病院は組合員に依拠しているということに再認識させられたと思います。

4月から新入職員を45人迎え入れ病院全体として約600人という大所帯になります。医師体制はまだまだ厳しいですが新研修医が8人入りました。

すぐに組合員として加入していただきました。これから組合員の皆様の率直なご指摘やご指導をよろしくお願い致します。

基礎固めはほぼできました。本年度は地に根を下ろした医療活動をじっくり進めていく第一歩となると思います。これからも組合員の皆様のご協力ご支援を心からお願い致します。

院長 仲程正哲



入職式の様子

総看護師長が変わります



沖縄協同病院が豊見城市真玉橋から那覇市古波蔵に移転したことで、病院の機能が大きく様変わりしました。急性期を担う病院として救急車を断らない方針を徹底する為、救急センターやICUの空きベッドを確保し、いつでも受け入れできるシステムづくりを行ってきました。四苦八苦することが多々ありますが、軌道に乗りつつあります。

4月から総看護師長が交代します。この間、リスクマネージャーとして医療安全に関わってきた人です。患者・組合員さんと共に「医療の安全性について考える場」を何らかの形で持てることを期待します。

元総看護師長 当間智恵子



2010年4月1日より、沖縄協同病院総看護師長の任命を受けました。

これまで私自身、人工透析室をはじめとし、医療安全管理室など多くの部署異動をして大勢の患者・組合員の皆様と関わりをもってきました。

看護師は、病院で働く職員の中では患者様と関わる時間が一番多い職種であります。看護部を統轄する立場になり、皆様が病院を利用し「快い」わたしたち病院の看護師は良いと思える看護師集団を皆で努力し、築いていきたいと考えています。

今後とも、当院をご利用頂き、ご意見もお寄せ頂ければと思います。よろしくお願い致します。

新総看護師長 荷川取直美

病院の活動状況 <2月度>

・外来平日(月~金) : 761.1人  
一日平均患者数 (前月比-77.7人)

・組合員利用率 : 55.5%  
(前月比+4.8%)

尿失禁その1

いっしょに 49

泌尿器科



尿失禁とはどんな病気?

「自分の意志」とは関係なく、尿が漏れる状態」で、健康な女性にも見られる軽いものから、痴呆にともなう尿失禁まで幅広い病気です。

この様な命にかかわる病気ではないが、社会的・衛生的に問題になる病気をQOL疾患と呼びます。QOLとはクオリティ・オブ・ライフの略で、生活の質という意味です。このような疾患はなかなか人に相談しにくく、外出をひかえたり、旅行したくても尿失禁が気がかり等、社会生活を営む上で、非常にやっかいな問題です。

我が国では本格的な調査が行われておらず、正確な罹患率(病気にかかる人の割合)は不明ですが、高齢者の尿失禁に関しては、一般に在宅者の一〇%、病院老人施設入居者の五〇%に尿失禁がみられると報告されています。全体でも一九九三年の調査で、約四〇〇万人の尿失禁患者がいると推定されています。



尿失禁の種類

尿失禁は原因や病気の質によつて、①腹圧性尿失禁 ②切迫性尿失禁 ③溢流性尿失禁 ④機能的尿失禁 ⑤反射性尿失禁 に分類されています。それぞれ原因も異なり、治療法も変わってきます。次回はその違いをお話ししましょう。

泌尿器科 翁長朝浩

# お楽しみの一泊旅行

かりゆし会  
(糖尿病患者会)

3月6日(土)から会員、職員計14人で山原に行ってきました。ちょうど東村のつつじ祭りが始まっており、晴天の下、気持ち良い散歩ができました。

かりゆし会事務局 玉城淳子



虹の箱とは患者さまの声を医療活動に反映させていくための投書箱です。

### ご意見・ご要望

午前10時に受付をして、現在13時40分、まだ待っている状況。おかしいと思います。整形外科なのに余計悪くなります。どうか改善を!

3月24日

### ご返事

整形外科の待ち時間の苦情は、これまでも多くの患者様から寄せられています。本当に申し訳ありませんでした。4月から下記のような外来体制を進めていきますのでご協力をお願いいたします。

1. 従来の(月)、(水)、(金)の午前は「予約外来」とし予約制を徹底し、待ち時間の短縮に努めます。「予約外来」に来院された予約以外の患者様は予約患者様診療後の診察となります。
2. (火)の午後と(木)の午前に外来を増設し、(月)の夜間と(土)の午前外来を含めこれらの外来は従来と同じ受付された順に診察を行います。

外来師長 赤嶺由美子

# 新年会

のぞみの会  
(リウマチ患者会)

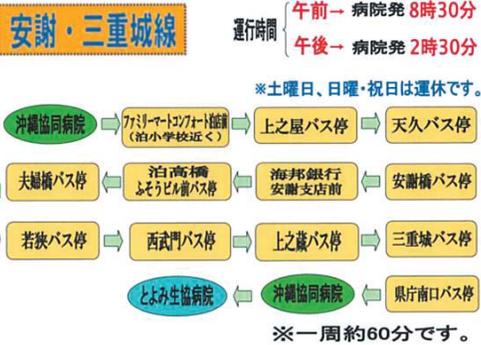
3月10日(水)に都ホテルで新年会を行いました。会員17人、職員9人の参加があり、おいしい食事と患者様のカラオケでとても楽しく盛り上がりしました。

外来師長 赤嶺由美子



# 病院送迎バス

## 安謝・三重城線が運行開始します



4月1日より安謝、泊、若狭、三重城など那覇の西側を巡回します。半年間は試験運行期間とし、実際に一定数利用があれば本運行へ移行します。是非ご利用下さい。



# 医師の動向

### <初期研修修了後退職>

佐久川信、杉浦勇太、花城 徹、深沢真希、福島太郎、山崎竜司

### <入職>

嘉手川豪心(泌尿器科)、川上浩司(外科)

### <専門研修より帰任>

津田智弘(整形外科)、雨積涼子(小児科)、中村真紀(小児科)、石井隆弘(内科)

### <退職>

井上比奈(内科)

### <専門研修へ>

伊良波禎(循環器内科)、比嘉清志郎(整形外科)

### <後期研修医入職>

清水啓史(内科)、加藤航司(外科)、佐々木毅志(整形外科)

### <休職>

嘉陽真美(産婦人科)

# ダイエットウォーク&気功

★ダイエットウォークを取り入れたストレッチとウォークです。

【4月の日程】 7・14日(水)

場所: とよみ生協病院 7階筋トレ室 時間: 18:30~  
お問い合わせ: とよみ生協病院 事務課長 金城



※途中参加、退出できますので、お気軽にご参加ください。

再開  
します!

# 沖縄雑学 Vol.③

## チヨーチカ

去る二月二十七日に沖縄(M六・九)とチリ(M八・八)で地震があった。沖縄でこの大きさは九九年ぶりという。恐怖のあまりなすすべもなく揺れのおさまるのを待つしかなかった。

九〇歳近い祖母は地震が来ると「チヨーチカ チヨーチカ」とつぶやいていた。あの頃は「マフヤー マフヤー」のような単なる沖縄のオバーの独り言だと思っていた。後に「くわばら くわばら」と同じく雷や地震除けのまじないだと知るまでは。



「金剛嶺」の三文字が刻まれた経塚の石碑

「チヨーチカ」とは経塚(浦添にある地名)の方言で次のような由来がある。「昔、首里から浦添への道は人里離れた寂しい場所、途中にマジムン(妖怪)が出没して人々を困らせていた。そこで、一五二四年に日秀上人がお経を小石に書いて埋め、石碑を立ててマジムンを退治した」と伝えられている。その後、地震がきても経塚の地だけは揺れなかった。チヨーチカ チヨーチカ」と唱えると被害に合わないとい信じられてきた。

地震が少なかつたせいか、この言葉は今ではほとんど知られていないが、今、基地問題で大揺れに揺れている沖縄を鎮めるまじないは「ノーキチ ノーキチ」しかない!

とよみ生協病院 事務課長 金城稲子